



いのちを懸けて、問う――



カンヌ国際映画祭出品 | 世界の最高賞部門20作品に堂々選出

一命

いちめい

市川海老蔵 瑛太

満島ひかり 竹中直人 青木崇高 新井浩文 波岡一喜 笹野高史 中村梅雀 / 役所広司

監督:三池崇史 原作:滝口康彦 脚本:山岸きくみ 音楽:坂本龍一

エグゼクティブプロデューサー:中沢剛 監修:Jeremy Thomas プロデューサー:段美枝子 企画:前田誠司 撮影:北信康 (ASC) 照明:渡部浩 録音:中村孝 美術:林田裕史 視覚効果:坂本晴 編集:飯沼 音響:藤田 音楽:坂本龍一 衣装:大野イサオ 車輪:加藤 美術:大村弘二 殺陣:辻井啓則 編集:山下徹治 音響効果:藤田 監査:長崎謙介
ラインプロデューサー:小松俊 監製:山田洋次 プロデューサー:北山由希子 制作担当:若田政徳 制作:セゾンプロダクション 制作協力:O.E.M. 実行委員会:エディタール・ナックル 企画:松竹 録音:RAM Recorded Picture Company 印刷:日新聞社 山梨放送 アニメーション:スタジオ・ワン Yahoo! JAPAN 朝日新聞社 配給:松竹

WWW.ICHHIMEI.JP 10月15日(土) ROADSHOW 2D・3D 同時公開



なぜ男は、切腹を願い出たのか――。世界を圧倒した衝撃の超大作。

世界を震撼させた話題作、 ついに日本解禁。



本年度カンヌ国際映画祭で、
一本の日本映画が上映された。
それは、今や世界が注目する監督、
三池崇史待望の新作「一命」である。
怒涛のストーリー展開、鬼気迫る役者陣の演技、
緊迫感あふれる映像美、
そして衝撃の結末に観客は騒然となり、
スタンディング・オベーションは鳴りやむことがなかった——。
この世界を圧倒した衝撃作が、
ついに日本で、そのベールを脱ぐ。



＜一命＞を懸けて、己の信じる＜義＞を貫く、その生き様を、心して見よ。

戦国の世は終わり、平和が訪れたかのようにみえた江戸時代初頭、徳川の治世。しかし、その下では大名の御家取り潰しが相次ぎ、仕事も家もなく生活に困った浪人たちの間で【狂言切腹】が流行。それは裕福な大名屋敷に押し掛け「庭先で、切腹させてほしい」と願い出ると、面倒を避けたい屋敷側から職や金銭がもらえるという、都合のいいゆすりだった。ある日、一人の侍が切腹を願い出た。名は津雲半四郎。家老・斎藤勘解由は、数ヶ月前にも同じように訪ねてきた若浪人・千々岩求女の、狂言切腹の顛末を語りはじめる。武士の命である刀を竹光に変え、恥も外聞もなく、切腹を願い出た若浪人の無様な最期を——。そして半四郎は、驚くべき真実を語りはじめる。予測のつかないストーリー展開、驚愕の事実、そして迎える衝撃の結末。「一体何が善で、何が悪なのか？」一命を懸けたこの問いを、あなたならどう受け止めるだろうか。

主演は、比類なき存在感と天賦の才で他を圧倒する市川海老蔵と、繊細な演技に定評のある実力派俳優・瑛太。そして、注目の若手女優・満島ひかり、日本を代表する演技派俳優・役所広司らの渾身の演技が交錯し、圧巻の人間ドラマを生み出した。スタッフは、米国アカデミー賞受賞者たちが集結。プロデュースに『おくりびと』の中沢敏明と『ラストエンペラー』のジュレミー・トーマス、音楽は『戦上のメリークリスマス』の坂本龍一が手掛ける。そして『クローズZERO』『十三人の刺客』の鬼才・三池崇史監督が、心の内面に奥深く迫るアプローチで、ついに新境地を切り開いた。世界最新の3Dシステムを駆使して生み出した作品世界は、まるで日本画の中で、物語の場に同席するかのような緊張感と臨場感を作り出した。



10月15日(土)ロードショー!

全国共通特別鑑賞券 1,300円(税込)好評発売中 ※一部取り扱いの無い劇場がございます。

2D・3D同時公開 3D版をご鑑賞の際は窓口にて追加料金が発生します。